

## 2024年8月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社エンゼルグループ 上場取引所 東  
コード番号 5534 URL https://www.angel.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新保 光栄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 徳畑 哲司 TEL 03 (6256) 0155  
中間発行情報提出予定日 2024年5月31日 配当支払開始予定日 -  
中間決算補足説明資料作成の有無：無  
中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期中間期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期中間期	4,486	4.1	96	△71.0	100	△71.2	45	△96.0
2023年8月期中間期	4,310	-	333	-	347	-	1,150	-

(注) 中間包括利益 2024年8月期中間期 45百万円 (△96.0%) 2023年8月期中間期 1,150百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期中間期	11.47	-
2023年8月期中間期	264.50	-

- (注) 1. 2022年8月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2023年8月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。
2. 2023年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年8月期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 2024年8月期中間期については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については記載しておりません。
4. 当社は、2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2023年8月期の期首に行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期中間期	18,793	12,283	65.3
2023年8月期	17,992	12,238	68.0

(参考) 自己資本 2024年8月期中間期 12,280百万円 2023年8月期 12,238百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	0.00	1.00	1.00
2024年8月期	0.00	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,498	11.9	418	17.5	428	2.5	359	△69.2	89.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 除外 1社

（社名）株式会社エンゼルフォレストリゾート（特定子会社）と株式会社エンゼル那須白河（特定子会社）は、2023年9月1日付で合併し、社名を株式会社エンゼルフォレストリゾートとしております。

(2) 中間連結財務指標の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細については、添付資料「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（5）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期中間期	4,440,000株	2023年8月期	4,440,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期中間期	440,500株	2023年8月期	440,500株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年8月期中間期	3,999,500株	2023年8月期中間期	4,349,953株

（注）当社は、2023年2月6日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。そのため当該株式分割が2023年8月期の期首に行われたと仮定して、2023年8月期中間期の「期中平均株式数」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍の収束とともに経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、物価高による消費の下押し、円安の加速や日本銀行による2024年4月のマイナス金利の解除など、先行きは不透明な状況が続いております。

リゾートを取り巻く環境としましては、経済活動の正常化やインバウンド需要の増加により活気を取り戻しつつあり、順調に回復している状況にあります。

当社グループにおきましては、宿泊部門では信越地域の暖冬少雪や能登半島地震の影響により厳しい事業環境となりましたが、新プランの設定や顧客満足度の向上を図る取り組み、経費の効率的な利用により利益の最大化を図ってまいりました。新たな取り組みとしまして、2023年12月に『エンゼルグランディア越後中里』のバイキングレストランを「越後の旬を味わう」というコンセプトでリニューアルを行いました。『エンゼルフォレスト白河高原』では当中間連結会計期間中に4タイプ15棟のコテージを新たにオープンしました。また伊豆方面でプール付きの新築貸別荘など新たに5棟をオープンしました。新しいエリアへの進出として山中湖で貸別荘を1棟オープンさせております。

管理部門では、マンション管理で管理棟数を9棟増やしております。別荘地管理は突発的な修繕工事の発生により厳しい経営環境ではあるものの経費削減に努めてまいりました。

不動産部門では、自社物件を増やすために買い取りを促進しつつ、付加価値あるリフォームによる差別化を図ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,486,688千円（前年同期比4.1%増）、営業利益は96,974千円（前年同期比71.0%減）、経常利益は100,185千円（前年同期比71.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は45,888千円（前年同期比96.0%減）となりました。

なお、当社グループはリゾート事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は18,793,497千円となり、前連結会計年度末に比べ801,129千円増加いたしました。これは主に、設備投資等に伴い有形固定資産が592,371千円増加、販売用不動産が426,327千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計年度末における負債合計は6,509,689千円となり、前連結会計年度末に比べ755,718千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計年度末における純資産合計は12,283,808千円となり、前連結会計年度末に比べ45,411千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益45,888千円による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は11,629,135千円で、前連結会計年度末に比べ269千円減少しております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、282,620千円の資金の減少（前年同期は257,551千円の減少）となりました。これは主に、法人税等の支払額又は還付額192,322千円、減価償却費110,026千円により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額412,953千円、環境対策費用の支払額218,244千円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、772,444千円の資金の減少（前年同期は352,606千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出745,665千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,054,795千円の資金の増加（前年同期は80,996千円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,198,000千円、短期借入金の返済による支出150,000千円等によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績につきましては、2023年10月13日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,150,047	12,149,783
受取手形及び売掛金	468,059	572,179
販売用不動産	1,171,556	1,597,883
商品及び製品	83,011	92,813
未成工事支出金	113,391	33,074
原材料及び貯蔵品	44,637	41,885
その他	775,578	522,048
貸倒引当金	△34,999	△25,226
流動資産合計	14,771,282	14,984,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,755,907	2,010,339
その他	1,057,317	1,395,256
有形固定資産合計	2,813,225	3,405,596
無形固定資産	29,580	29,950
投資その他の資産		
その他	393,749	388,799
貸倒引当金	△15,469	△15,289
投資その他の資産合計	378,280	373,510
固定資産合計	3,221,085	3,809,057
資産合計	17,992,368	18,793,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	117,714	115,832
工事未払金	64,634	88,678
短期借入金	250,000	100,000
1年内償還予定の社債	140,600	169,000
1年内返済予定の長期借入金	165,040	359,330
未払法人税等	23,161	50,282
賞与引当金	79,957	78,894
資産除去債務	17,988	—
その他	1,220,565	992,580
流動負債合計	2,079,661	1,954,598
固定負債		
社債	303,400	404,700
長期借入金	1,254,566	2,141,371
退職給付に係る負債	7,988	7,988
資産除去債務	41,924	69,199
企業結合に係る特定勘定	1,069,821	954,267
その他	996,609	977,565
固定負債合計	3,674,309	4,555,091
負債合計	5,753,971	6,509,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	7,362	7,362
利益剰余金	12,505,459	12,547,348
自己株式	△374,425	△374,425
株主資本合計	12,238,397	12,280,286
新株予約権	—	3,522
純資産合計	12,238,397	12,283,808
負債純資産合計	17,992,368	18,793,497

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	4,310,688	4,486,688
売上原価	1,214,325	1,257,471
売上総利益	3,096,362	3,229,217
販売費及び一般管理費	2,762,488	3,132,243
営業利益	333,874	96,974
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1,319	987
受取保険料	6,853	—
受取支援金収入	4,587	—
業務受託料	1,914	1,914
土地使用料	6,027	5,658
その他	6,820	7,693
営業外収益合計	27,522	16,253
営業外費用		
支払利息	4,591	9,901
貸倒引当金繰入額	6,500	—
支払手数料	—	2,000
その他	2,530	1,140
営業外費用合計	13,621	13,042
経常利益	347,775	100,185
特別利益		
固定資産売却益	3,755	98
投資有価証券売却益	9,141	—
収用補償金	—	24,913
特別利益合計	12,896	25,011
特別損失		
固定資産売却損	1,678	—
減損損失	54,009	10,162
固定資産除却損	2,028	29,031
特別損失合計	57,716	39,193
税金等調整前中間純利益	302,955	86,004
法人税等	△847,593	40,115
中間純利益	1,150,548	45,888
親会社株主に帰属する中間純利益	1,150,548	45,888



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
中間純利益	1,150,548	45,888
中間包括利益 (内訳)	1,150,548	45,888
親会社株主に係る中間包括利益	1,150,548	45,888

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	100,000	7,362	11,338,648	—	11,446,011	—	11,446,011
当中間期変動額							
剰余金の配当					—		—
親会社株主に帰属する中間純利益			1,150,548		1,150,548		1,150,548
自己株式の取得				△374,425	△374,425		△374,425
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)							—
当中間期変動額合計	—	—	1,150,548	△374,425	776,123	—	776,123
当中間期末残高	100,000	7,362	12,489,197	△374,425	12,222,134	—	12,222,134

当中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	100,000	7,362	12,505,459	△374,425	12,238,397	—	12,238,397
当中間期変動額							
剰余金の配当			△3,999		△3,999		△3,999
親会社株主に帰属する中間純利益			45,888		45,888		45,888
自己株式の取得					—		—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						3,522	3,522
当中間期変動額合計	—	—	41,888	—	41,888	3,522	45,411
当中間期末残高	100,000	7,362	12,547,348	△374,425	12,280,286	3,522	12,283,808

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	302,955	86,004
減価償却費	64,596	110,026
株式報酬費用	—	3,522
減損損失	54,009	10,162
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△298	△1,062
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,685	△9,953
受取利息及び受取配当金	△1,319	△987
支払手数料	—	2,000
支払利息	4,591	9,901
固定資産除却損	2,028	29,031
固定資産売却損益 (△は益)	△2,077	△98
投資有価証券売却益	△9,141	—
収用補償金	—	△24,913
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,337	△104,119
棚卸資産の増減額 (△は増加)	82,071	△412,953
棚卸資産から有形固定資産への振替	△86,611	—
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△33,250	80,317
前払金の増減額 (△は増加)	△78,705	175,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,888	22,161
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,306	△31,308
未収消費税等の増減額 (△は増加)	41,050	△41,182
未払金の増減額 (△は減少)	△5,025	5,900
その他	△58,770	△180,594
小計	261,869	△272,620
利息及び配当金の受取額	1,315	981
利息の支払額	△4,591	△9,972
環境対策費用の支払額	△187,468	△218,244
収用補償金の受取額	—	24,913
法人税等の支払額又は還付額	△328,677	192,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	△257,551	△282,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△320,630	△320,641
定期預金の払戻による収入	320,630	320,641
有形固定資産の取得による支出	△405,643	△745,665
有形固定資産の売却による収入	4,506	98
無形固定資産の取得による支出	△4,092	△1,432
投資有価証券の売却による収入	49,141	—
預り敷金保証金の受入による収入	10,000	8,400
長期貸付金の回収による収入	2,393	2,431
その他	△8,910	△36,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,606	△772,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△150,000
長期借入金の返済による支出	△15,294	△118,905
長期借入れによる収入	541,015	1,198,000
社債の償還による支出	△70,300	△70,300
社債の発行による収入	—	200,000
自己株式の取得による支出	△374,425	—
配当金の支払額	—	△3,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,996	1,054,795
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△529,161	△269
現金及び現金同等物の期首残高	12,204,913	11,629,404
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,675,751	11,629,135

（5）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（セグメント情報）

当社グループは、リゾート事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （重要な後発事象）

## （吸収分割による事業承継）

当社の連結子会社である株式会社エンゼルフォレストリゾートは、2023年11月8日開催の取締役会において、三井不動産株式会社及び株式会社三井の森が営む三井不動産の浅間高原別荘地の管理事業を吸収分割の方法により承継する方針を決定し、同日、三井不動産株式会社及び株式会社三井の森との間で吸収分割契約を締結し、2024年4月1日に実施いたしました。

本吸収分割の主な内容は、次のとおりであります。

## 1. 吸収分割の主な目的

当社グループが運営するホテルや管理する別荘地のノウハウを用いて、リゾート市場の活性化を通じて、当社グループの成長に寄与するものと判断いたしました。

## 2. 本吸収分割契約の日程

取締役会決議日	2023年11月8日
吸収分割契約締結日	2023年11月8日
効力発生日	2024年4月1日

## 3. 本吸収分割の方式

三井不動産株式会社及び株式会社三井の森が営む三井不動産浅間高原別荘地の管理事業に関する権利義務を当社の連結子会社である株式会社エンゼルフォレストリゾートに承継させる吸収分割方式です。

## 4. 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

## 5. 本吸収分割の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	一千円
取得原価	一千円

## 6. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

## 7. 本吸収分割により増減する資本金

現時点では確定しておりません。

## 8. 企業結合日に受け入れる資産及び引受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

## （多額の資金の借入）

当社は2024年3月14日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議し、タームローン契約に基づき、2024年3月29日付で162百万円の借入を実行いたしました。

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| (1) 資金用途  | 販売用宿泊施設の建設資金として使用 |
| (2) 借入先   | 株式会社三菱UFJ銀行       |
| (3) 借入極度額 | 1,000百万円          |
| (4) 借入金利  | 短期変動金利＋スプレッド      |
| (5) 借入実行日 | 2024年3月29日        |
| (6) 借入期間  | 5年間               |
| (7) 担保の有無 | 無担保、無保証           |